

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月08日

計画の名称	岡山県の安全・安心な歩行空間の確保を目指した街路整備（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	岡山県, 倉敷市, 津山市											
計画の目標	倉敷市・津山市・早島町の3市町の通学路交通安全プログラムで要対策箇所とされた箇所について、現道拡幅やバイパスによる街路整備を実施することで、安全・安心な歩行空間の確保を実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,374	A	7,374	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	通学路の要対策箇所37箇所（倉敷市・津山市・早島町の合計）のうち、4箇所の整備を完了させ、対策済率を11%向上させる。 対策済率の向上 (対策済率) = (対策済箇所数) / (要対策箇所数)	0%	%	11%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	岡山県	直接	岡山県	S街路	改築	(都) 河辺高野山西線	バイパス L=0.7km	津山市	■	■	■			1,615	—	
	A01-002	街路	一般	岡山県	直接	岡山県	S街路	改築	(都) 早島大砂線	現道拡幅 L=1.0km	早島町 倉敷市		■	■	■	■	630	—	
	A01-003	街路	一般	岡山県	直接	岡山県	S街路	改築	(都) 連島呼松線	現道拡幅 L=1.2km	倉敷市		■	■	■	■	2,330	—	
	A01-004	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 新田上富井線	道路新設 L=1.0km	倉敷市		■	■	■	■	308	—	
	A01-005	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 西阿知矢柄線	道路新設 L=0.3km	倉敷市	■	■	■	■	■	500	—	
	A01-006	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 矢柄西田線	道路新設 L=1.0km	倉敷市	■	■	■	■	■	1,287	—	
	A01-007	街路	一般	津山市	直接	津山市	S街路	改築	(都) 総社川崎線（山北 工区）	現道拡幅 L=0.5km	津山市	■	■	■	■	■	704	—	
												小計						7,374	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H28	H29	H30	H31	R02											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計						7,374										

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山県において評価を実施	令和5年3月
	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)河辺高野山西線及び(都)西阿知矢柄線の対策完了により、対策が必要とされていた危険箇所について安全・安心な歩行空間の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・(都)河辺高野山西線の整備により、国道53号から津山中央病院（災害拠点病院）へアクセス性が向上し、県北エリアの医療基盤強化につながった。 ・(都)西阿知矢柄線の整備により、倉敷市地域防災計画において避難所に指定されている西阿知小学校及び水島工業高等学校までの迅速な避難が可能となり、防災機能の強化が図られた。

○特記事項（今後の方針等）

県内には、通学路交通安全プログラムにおいて対策が必要とされた箇所が存在しているため、引き続き、効率的・効果的な手法で事業を推進し、安全・安心な歩行空間の確保を図る。

本整備計画において未完了であった次の事業については、安全・安心な歩行空間を確保できるよう引き続き整備を進めている。

- ・(都)早島大砂線（現道拡幅）
- ・(都)連島呼松線（現道拡幅）
- ・(都)新田上富井線（道路新設）
- ・(都)矢柄西田線（道路新設）
- ・(都)総社川崎線（現道拡幅）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	11%
	最終実績値	5%
通学路の要対策箇所37箇所（倉敷市・津山市・早島町の合計）のうち、4箇所の整備を完了させ、対策済率を11%向上させる。		
整備完了を目標としていた4箇所のうち2箇所（早島大砂線、総社川崎線）について、用地交渉の難航等により進捗が遅れが生じ、整備が完了しなかったことから効果が発現せず、目標値を下回った。		